



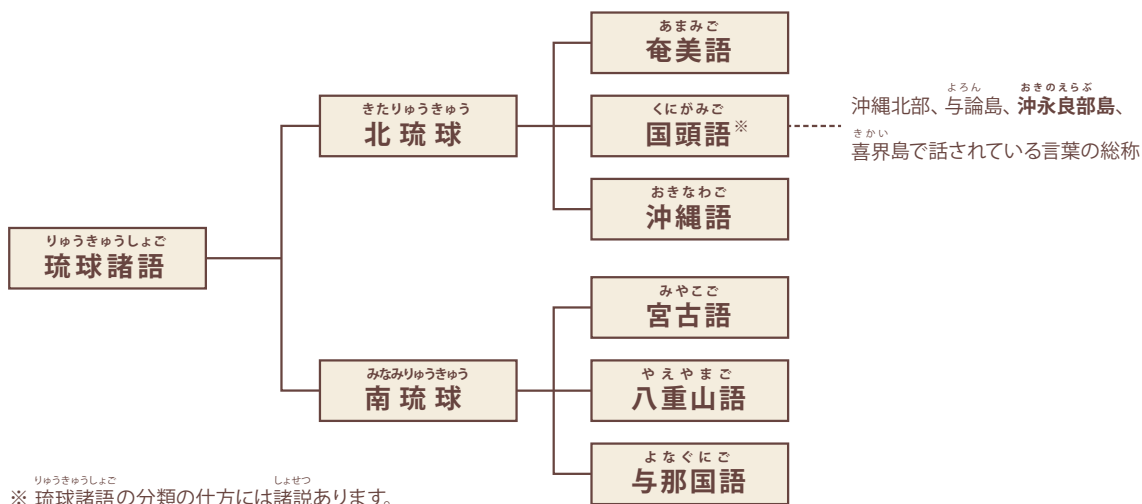
しまむにとってどんなことば？



1. しまむにとってどんなことば？

「しまむに」とは、奄美群島沖永良部島で話されている言葉です。「島」または「集落」をあらわす「しま」と、「言葉」を表す「むに」で「しまむに（沖永良部のことば）」という意味になります。

「しまむに」は、奄美群島から沖縄の先島諸島で話されている「琉球のことば（琉球諸語）」の仲間です。日本で話されている言語は、大きく、アイヌ語、日本語、そして琉球諸語に分けられます。そして、琉球諸語はさらに細かく分けることができます。

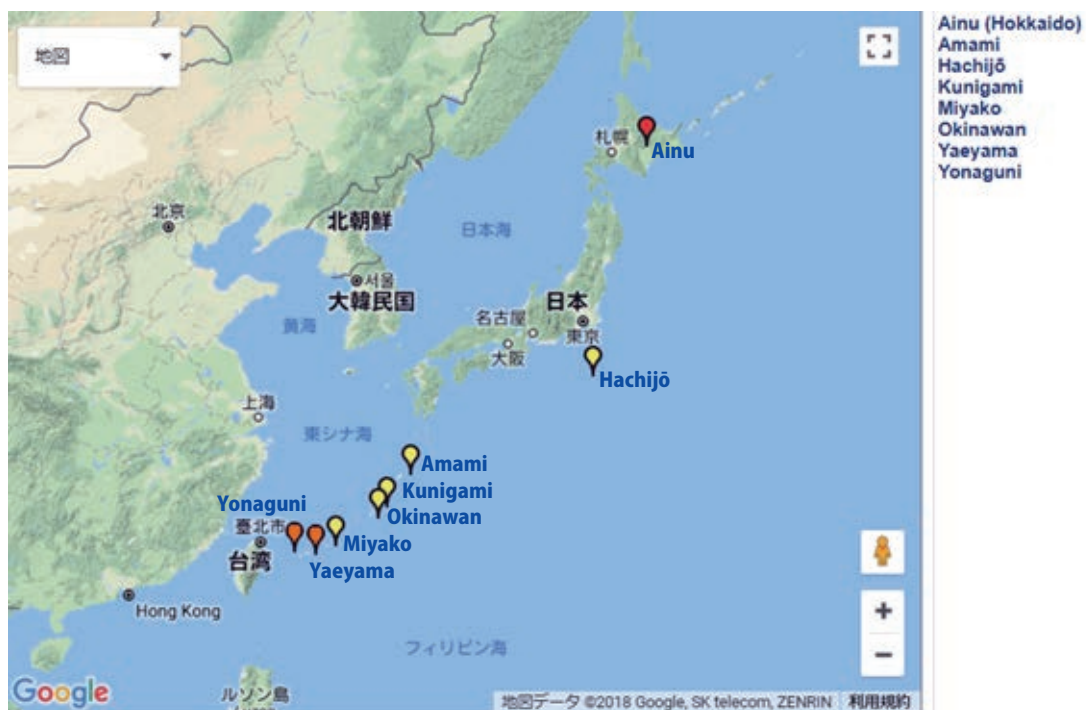


日本語と琉球語がいつ、どのように分かれたかについては、いろいろな説があります。しかし、少なくとも1300年以上前に分かれたのではないかとされています。その証拠に、琉球の言葉には、上代日本語（奈良時代以前の日本語）にはあったものの、現代の日本語には残っていない音や文法の特徴が、今でも残っています。



ききげんで 2. 危機言語としてのしまむに

世界には6000から7000の言語がありますが、その多くは急速に話す人が減っており、近い将来、消滅するかもしれないと言われています。そこで、UNESCO (ユネスコ) は、危機的な状態にある言語の記録と復興を目的として「危機言語地図 (Atlas of the World's Languages in Danger)」を発表しました。その地図には、日本語から8つの言語 (Ainu, Hachijo, Amami, Kunigami, Okinawa, Miyako, Yaeyama, Yonaguni) がのりました。しまむにも、沖縄北部・与論島・喜界島の言葉と共にKunigami language (国頭語) として掲載され、このままでは消滅する恐れがあると考えられています。



日本の中の危機言語 <http://www.unesco.org/languages-atlas/>

しかし、危機言語は「いま何もしなければ、消滅する恐れがある言語」である一方で「いま何かをしたら、次の世代まで伝えることができる言語」です。しまむにを知っているアジ(おばあちゃん)やジャージャ(おじいちゃん)にいろいろなことを教えてもらい、未来に貴重な島の文化を引き継いでいきましょう。

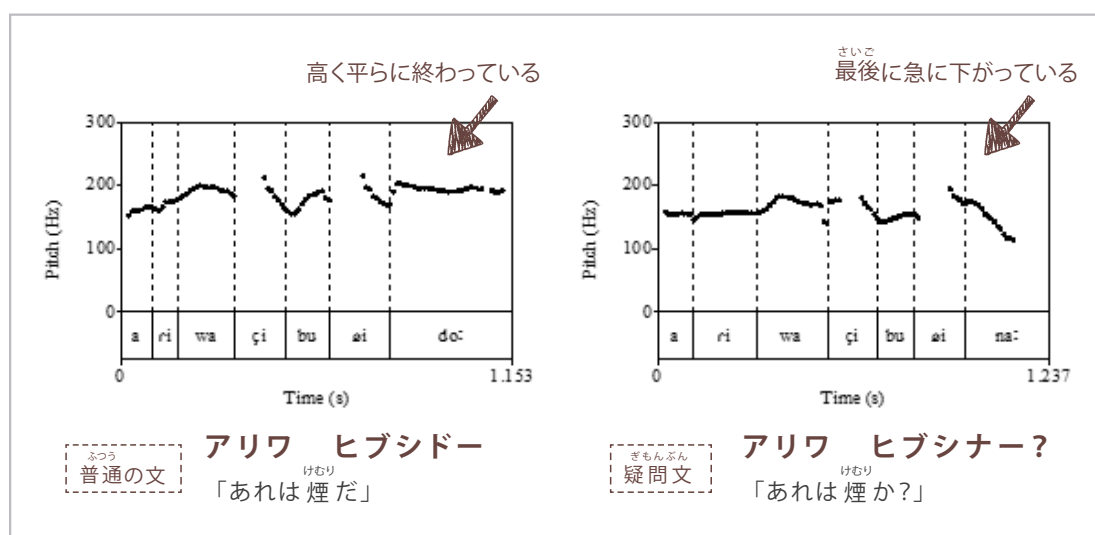
3. しまむにの面白いところ

日本語と琉球諸語は遠い昔に同じ祖先から分かれた言葉です。このため、琉球のことは日本語の古い特徴を持っています。一方で、琉球のことは島々に独自の歴史を歩んだことから、日本語には無い特徴や、世界的に見ても珍しい特徴もあります。ここでは、世界の言語と比べて珍しいしまむにの特徴を2つ紹介します。

3-1 疑問文は上がる？下がる？

日本語では「お腹すいた？」と聞くと、どんなふうに発音しますか？日本語を始め、世界の多くの言語では、「はい／いいえ」で答えられる疑問文を「上昇調のイントネーション」で発音します。それでは、しまむにではどうなるでしょうか？

左下の図は「アリワ ヒブシドー（あれは煙だ）」という普通の文、右下の図は「アリワ ヒブシナー？（あれは煙か？）」という疑問文の、音の高さを測ったものです。左の図が高く平らに終わっているのに対して、右の図では最後に急に下がっていることが分かります。



ここから分かるように、しまむにの珍しい特徴の1つは「Yes/Noで答えられる疑問文で下降調のイントネーションを使う」ということです。

3-2 格:主語と目的語の印のつけ方

「格」とは、かんたんに言うと「主語や目的語などに印をつける仕組み」です。

主語は、おもに「動作をする人」、目的語は、おもに「動作の対象になる人やもの」を表します。例えば、(1)の文では「太郎」が主語、「ご飯」が目的語です。

(1) 太郎 が ご飯 を 食べた
主語 目的語

この「主語」や「目的語」に印をつけるとき、日本語では、主語には「が」、目的語には「を」をつけます。この印のおかげで、語順が変わっても、意味を間違えません。

「主語」や「目的語」への印のつけ方には4通りがあります。このうち「③主語だけに印をつける」言語はとても珍しく、これまで数例しか報告されていません。

- ① どちらにも印をつける。←日本語
- ② 目的語だけに印をつける。
- ③ 主語だけに印をつける。←しまむに
- ④ どちらにも印をつけない。
(別の手段を使って、主語・目的語を表す)

それでは、しまむにはどうなっているのでしょうか？

(3)は「さぶがご飯を食べた」、(4)は「お母さんが私を呼んだ」という文です。

(3) サブ が メー カダン
さぶ が ご飯 を 食べた
(4) アマ ガ ワン アビタン
お母さん が 私 を 呼んだ

(3)の主語「さぶ」と(4)の主語「アマ(お母さん)」には、どちらも「ガ」がついています。一方、(3)の目的語「メー(ご飯)」と(4)の目的語「ワン(私)」には何もついていません。つまり、しまむには「③主語だけに印をつける」言語だと言えます。

まとめ

- しまむには琉球のことばの仲間。
- 危機言語(何もしなければ無くなってしまうかもしれない言語)の1つ。
- 日本語には無い特徴や、世界の言語と比べて珍しい特徴がある。